



平成 27 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 夢展望株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岡 隆宏
 (コード：3185、東証マザーズ)
 問合せ先 取締役管理本部長 阪田 貴郁
 (TEL. 072-761-9293)

連結業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績の動向等並びに、決算期変更及び経営合理化計画（役員報酬の削減、希望退職実施に伴う損失、及び倉庫面積の見直し、商品評価損失の計上、事務所の閉鎖）の実行に伴い、平成 26 年 9 月 30 日に公表いたしました平成 27 年 9 月期通期連結業績予想(平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A） （12ヶ月決算）	6,733 百万円	60 百万円	38 百万円	27 百万円	19 円 48 銭
今回修正予想（B） （6ヶ月決算）	2,730 百万円	▲517 百万円	▲580 百万円	▲803 百万円	▲563 円 34 銭
（ご参考）前期連結実績 （平成 26 年 9 月期）	6,539 百万円	▲751 百万円	▲790 百万円	▲908 百万円	▲647 円 04 銭
（ご参考）前期連結実績 （平成 26 年 9 月期 第 2 四半期）	3,847 百万円	▲130 百万円	▲153 百万円	▲210 百万円	▲149 円 95 銭

(注) 1. 平成 27 年 3 月期につきましては、決算期変更により 6 ヶ月（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の変則決算となっております。前回発表予想と今回修正予想の対象期間が異なるため、増減額及び増減率につきましては記載しておりません。

2. 当業績予想の修正に関しては、同日に公表致しました平成 27 年 3 月 30 日に開催予定の臨時株主総会にて決議予定の決算期変更が可決されることを前提として作成しております。

2. 修正の理由

継続している円安の状況及び当社の属するヤングレディースアパレルのトレンドが大きく変化し、当社のブランドイメージとトレンドとの間の乖離が継続して生じており、また、売上低迷に伴う在庫処分により売上総利益率の低下、リブランドのための広告強化の費用などを見込んでおり、当連結会計年度第 1 四半期においても、引き続き業績が低迷している状況が続いております。

上記のような当社の経営環境に対応するため、当該開示資料と同日公表しております「人員削減等の経営合理化の取り組みに関するお知らせ」に記載しておりますとおり、経営の構造改革を進め、コストの引き下げを進める計画です。上記の計画を達成するため、売上拡大路線を一時転換し、計画しておりました売上高を引き下げるとともに、商品の処分損失として 150 百万円を売上原価として計上する見込みです。また、役員報酬の削減、人員削減、事務所の閉鎖、倉庫面積の削減等で販売費および一般管理費を引き下げる方針ではありますが、平成 27 年 3 月期におきましては、経営合理化に係るリストラクチャリング費用として下記「3. 特別損失

の内容」のとおり特別損失として合計 232 百万円計上する見込みです。

また、別途公表しております「資本業務提携、第三者割当による新株式の発行、主要株主、主要株主である筆頭株主及び親会社の異動、決算期（事業年度の末日）、発行可能株式総数、取締役の任期及び目的の変更に関する定款の一部変更、並びに、資本金及び資本準備金の額の減少に関するお知らせ」の「IV. 決算期変更に関する定款の一部変更」に伴い、親会社となります健康コーポレーション株式会社との決算期（事業年度の末日）を合わせるため決算期（事業年度の末日）の変更を計画しております。その結果、上記平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）においては、6 カ月の変則決算となっております。

3. 特別損失の内容

希望退職に伴う退職金引当金として 105 百万円、事務所閉鎖に係る損失 27 百万円、また、業績低迷に伴い「固定資産の減損に係る会計基準」に規定されます減損の兆候に該当する事象が発生しております。現在、決算手続きを進めておりますが、固定資産の収益性の低下による減損損失として 100 百万円程度を見込んでおります。

以 上